

# 令和4年度 山之手小 学校経営ビジョン

## 教育目標

## 安心を届ける学校

知・徳・体の調和のとれた、  
21世紀を生き抜く心豊かで  
実践力のある児童の育成を  
目指す。

- ・真剣さ〈知〉
- ・やさしさ〈徳〉
- ・たくましさ〈体〉

### 基盤

- ・第4次豊田市教育行政計画  
「未来を拓く学び合い」
- ・地域学校共働本部
- ・地域人材の活用



### 目指す児童像

- 「いきいきと活動し、学び合う子ども」
- ・自ら学び、主体的に表現・行動する子
  - ・正しい判断ができ、思いやりのある子
  - ・安全に心がけ、最後まで根気よくがんばる子

### 学びがい

### 山小キャッチフレーズ

- ㊦ やる気でがんばる
- ㊦ 毎日続ける
- ㊦ のびのび表現する
- ㊦ 手を取り合う

# いきいき

### 働きがい

### 目標とする教師像

- 「いきいきと教育し、高め合う教師」
- ・学び続ける姿、授業力、アレンジ力
  - ・子どもの「よさ」に気付く
  - ・配慮を必要とする児童への指導

### 生きがい

### 期待する地域像

- 「いきいきと暮らし、助け合う地域」
- ・学校経営ビジョンの共有
  - ・学校サポートボランティア
  - ・情報の発信、思いの交流

## 経営方針

- ・児童が自己の存在感と肯定感、充実感をもち、いきいきと活動して学ぶ学校づくり
- ・児童の健康や安全を確保し、児童の人格を尊重した安全・安心な学校づくり
- ・教育的愛情と使命感をもった教職員が、教育活動の質の向上に取り組む学校づくり
- ・教職員が児童の「よさ」を認め、個性を生かした自己有用感を育む学校づくり
- ・家庭、地域と連携・協働を深め、地域ぐるみで児童を育てる社会に開かれた学校づくり

## 重点努力目標

- 自他を大切にし、自らを律しつつ他を思いやる心を育てる。
- 体験を通して感動や充実感を味わわせ、自己肯定感、自己有用感を育む。
- リスク管理能力を高め、健康・安全指導の充実を図るとともに、教育環境の整備に努める。
- 子どもたちが実際に考えている時間を意識し、分かる・できるようになる授業を展開する。
- 教育の専門家集団としての使命感をもち、研修に努め、授業力、指導力の向上を図る。
- ICT活用指導力を高めるとともに、家庭と連携してデジタル・シティズンシップを身に付けさせる。
- 元気で明るく児童の前に立てるように、地域との連携を図り、多忙化解消を推進する。
- 家庭・地域との信頼関係を深め、地域学校共働本部と連携し、開かれた学校づくりを推進する。